

# 特別支援学校における 災害危機管理に関する基礎的考察

神谷 大介<sup>1</sup> ・ 中山 貴喜<sup>2</sup> ・ 上野 靖晃<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 琉球大学

E-mail: d-kamiya@tec.u-ryukyu.ac.jp

<sup>2</sup> 琉球大学大学院

<sup>3</sup> 琉球大学

本研究では、沖縄県内の埋め立て地に立地する特別支援学校を対象として、地震津波災害に対する取り組みについて基礎的な考察を行う。特別支援学校は災害時要援護者が多くいる場所であるため、早急な対応が必要である。本研究では、まず、特別支援学校の現状について考察を行う。その上で、沖縄県内の具体的な学校を対象として、特別支援学校と隣接する高校との連携・協力による約2年間の津波避難に関する取り組みを説明する。この時、要援護者支援に関するICFの考え方、および知識経営におけるSECIモデルを用いて考察し、今後の支援方策について検討する。

キーワード：津波，避難，支援，ICF